

第4学年 国語科学習指導案

2組 計31人 (男子14人, 女子17人)

指導者 田之上 貴文

- 1 単元 説明の仕方を工夫して、お気に入りの場所を説明しよう
(教材「アップとルーズで伝える」「仕事リーフレット」を作ろう」光村4年下)

2 単元の見どころ

写真と文章の対応や段落相互の対比的説明の工夫に着目して、アップとルーズの特徴や筆者の説明の仕方について読み、お気に入りの場所について友達に伝えるために説明の中心を明確にしたり、写真と対応した説明の仕方や対比的説明の仕方を用いたりして書くことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	B 書く能力	C 読む能力	語句の理解・表現
自分のお気に入りの場所について詳しく見たり、相手に伝える説明の仕方を調べたりして、『お気に入りの場所紹介』リーフレット』を作ろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> アップの視点やルーズの視点で書かれた文章を対比して位置付けたり、「冒頭部ー展開部ー終末部」など各部分での段落の役割を明確にしたりして文章の構成を考えて書いている。 【(1)イ】 自分が伝えたいことの内容や段落、各段落内の大切な言葉を明確に記述したり、文章に対応した写真を用いて記述したりして書いている。 【(1)ウ】 	リーフレットを作るために必要な写真と文章の対応、アップとルーズの対比について考えて、文章を読んでいる。 【(1)イ】	接続語と指示語の役割を理解している。 【(1)エ】

4 単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として、「B書くこと ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く言語活動」の「お気に入りの場所説明リーフレット」(説明文)に書くを位置付けるようにする。このリーフレットの内側には、「『アップ』と『ルーズ』の視点で書いたお気に入りの場所の様子を伝える説明文」、外側には、「表紙」「お気に入りの場所の地図」をかくようにする。

学校や校区のお気に入りの場所の様子を説明するために、文章や写真などの資料を用いて説明する文を書く活動を位置付ける。そうすることで、子どもが「自分事の問題」をもって、主体的に教材文を読んだり、学習したことを生かして自分の考えを表現したりすることができる。と考える。

5 単元について

(1) 単元の位置とねらい

子どもたちは、1学期教材「大きな力を出す」、「動いて、考えて、また動く」で、筆者の考えを読み取るために段落相互のつながりや事実・説明・筆者の考えを捉える学習を行ってきた。また、教材「新聞を作ろう」では、新聞の特徴と作り方を学び、読み手に分かりやすく伝えるために、見出しや割り付けの工夫や常体・敬体を統一した表記の学習を経験してきている。

そこで、本単元では、「お薦めの場所について分かりやすく説明するには、どんな写真を使い、どう文章を書けばいいのか」という「単元を貫く『自分事の問題』」を基に、「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの特徴をまとめながら読む活動に取り組むようにする。そうすることで、写真と対応して説明したり、段落同士を対比的に位置付けて説明したりする能力を身に付けることができるようにする。

教材「アップとルーズで伝える」は、サッカーのテレビ中継を通して、「アップ」と「ルーズ」の情報の伝え方の特徴について対比的に説明しており、読んだ人に分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学ぶのに適した教材である。また、教材『仕事リーフレット』を作ろうは、写真と文章を工夫して組み合わせたリーフレットの作り方について、作品例や図を用いて説明しており、本単元に位置付けた言語活動である「お気に入りの場所説明リーフレット」作りの見通しをもつのに適した教材である。「アップとルーズで伝える」で学んだことを生かして、リーフレット作りに取り組むことで、伝えたいことの内容を明確にし、写真と文章の内容を対応させたり、段落の対比関係を用いたりした文章構成で説明する力を身に付けることに適した教材と考える。

ここでの学習は、写真・図表・地図などと文章を対比させながら、段落同士のつながりに気を付けて読む3学期教材「ウナギのなぞを追って」の学習につながっていく。

(2) 子どもの実態（調査日 平成26年9月18日，調査人数30人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

【調査1】 説明的文章を読むための知識・技能【中心文やキーワードを基に要点をまとめる】
必要な内容を用いて要点をまとめることができる (20) 必要な内容を用いて要点をまとめることがもう少しである (10)
【調査2】 構成に関する指導事項【写真を用いた説明のよさを理解することができる】
写真を用いた説明のよさを理解している (26) 写真を用いた説明のよさへの理解がもう少しである (4)
【調査3】 構成に関する指導事項【文章の中から対比関係にある叙述を読み取ることができる】
文章の中から対比関係にある叙述を読み取ることができる(18) 文章の中から対比関係にある叙述を読み取ることが難しい (12)
【調査4】 記述に関する指導事項【自分が伝えたいことの内容を明らかにして文章を書くことができる】
自分が伝えたいことの内容を明らかにして書くことができる(19) 自分が伝えたいことの内容を明らかにして書くことがもう少しである (11)

6 指導に当たって

(1) 「単元を貫く『自分事の問い』」をもたせるための単元の導入

事象提示	単元の活動への興味・関心・意欲をもつことができるようにするため、観光案内のリーフレットを見たり、説明の仕方に差がある2種類のお勧めの場所説明リーフレットを見たりして気付いたことを話し合う。
試行活動	指定された学校の場所について、試しにそのよさを説明する文を書くことを通して、解決すべき課題について話し合う。 * 関係する写真も複数用意し、子どもたちが必要に応じて使うことができるようにする。
単元の学習課題	お気に入りの場所を友達に伝えるために、説明の仕方を工夫したリーフレットを作ろう。
「単元を貫く『自分事の問い』」	
<input type="radio"/> お気に入りの場所を友達に説明するためには、どんな写真がいいのか。 <input type="radio"/> お気に入りの場所を友達に説明するためには、どんな書き方をすればいいのか。	

単元の「つかむ・見通す」過程においては、町で見かける観光案内リーフレットを見たり、自分なら学校や家の近くのどんな場所のどんなよさを説明したいか話し合ったりすることで、「自分のお気に入りの場所をリーフレットで説明する」という活動に対する興味・関心をもつことができるようにする。次に、試しに学校内の共通の場所についてよさを説明する文を書く活動に取り組みどのように説明したのか、グループや全体で比較、分類・整理したり、写真や説明の仕方に差がある2種類のお勧めの場所説明リーフレットを比較して考えたことを話し合ったりすることで、説明の仕方を工夫して書くことの大切さに気付くことができるようにする。その後、することで、写真の使い方や文章の書き方などの分かりやすい説明の仕方の工夫を学んでいく必要感や切実感を抱き、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。

(2) 「自分事の問い」をもって学ぶ子どもを育てる単元の展開

「つかむ・見通す」以降の過程では、学習計画に示された内容を確認したり、示された活動に関わる事象提示を工夫したりすることで、「単元を貫く『自分事の問い』」の解決に向けて一単位時間の言語活動に取り組む必要感や切実感を抱かせ、その時間における「自分事の問い」をもつことができるようにする。

「調べる・深める」過程では、写真と対応した教科書の叙述にサイドラインを引くことで、写真と文の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の特徴や使い方の違いを理解できるようにする。また、「アップ」と「ルーズ」の関係を比べながら読み取ったことを個人やグループでワークシートにまとめたり、全体で板書を介して話し合ったりすることで、筆者の対比関係を用いた説明の仕方のよさを「学び合い」を通して理解することができるようにする。また、各単位時間の後半において、その時間の学習を通して分かったことを自分の表現に生かす活動に取り組むようにする。本単元においては、学びを生かし自分のお気に入りの場所説明リーフレットに使う写真を選んだり、写真に対応した内容の文を考えたりすることで、子どもが自己の学びの高まりを実感し、解決意欲をもち続けて学ぶことができるようにする。

「まとめる・広げる」過程においては、教材「仕事リーフレットを作ろう」にあるリーフレット例を参考につくる手順やリーフレットの表裏4面にどんなことを書くのか形式を考えることで、見直しをもって活動に取り組むことができるようにする。

7 指導・評価計画 (全 14 時間)

重点評価項目

過程 (時)	単元を貫く 言語活動	主な学習活動	学習課題 ☐ 「自分事の問い」	教師の指導・評価 ◇ ICT活用
つかむ・見通す(2) 調べる・深める(5) まとめる・広げる(6) 高める・味わう(1)	「書くこと」 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く言語活動」の「お気に入りの場所説明リーフレット」(説明文)	1 試しのお勧めの場所説明リーフレット作りに取り組み、気付いたことを話し合う。 2 単元の学習課題 お気に入りの場所を友達に伝えるために、説明の仕方を工夫したリーフレットを作ろう。 4 単元の学習課題の解決に向けて課題を出し合い、「単元を貫いて解決を図る『自分事の問い』」をもつ。 5 学習計画を立てる。 6 『「アップ」と「ルーズ」で伝えるを読み、書かれた内容や説明の仕方の工夫について考える。 ○ 写真と文章を対応させた説明の仕方 ○ 対比関係を用いた説明の仕方【本時】 ○ 類比の関係を用いた説明の仕方 7 「アップ」と「ルーズ」を用いた説明例を見付け、よさを説明する。 8 教材「仕事リーフレットを作ろう」を読み、作り方の見通しをもつ。 9 載せる内容と写真を選び、お気に入りの場所を説明するリーフレットを作る。 10 作ったリーフレットを見直し、より分かりやすい表現に書き直す。 11 評価の観点を話し合い、リーフレットを読み合う。 12 本単元の学習を振り返り、互いの感想を交流する。	お気に入りの場所を友達に説明してみたいな。 お気に入りの場所を友達に説明するためには、どんな写真があるのかな。 お気に入りの場所を友達に説明するためには、どんな説明をすればいいのかな。 アップとルーズを伝えるではどんな写真を使って説明すればいいのかな。 アップとルーズを伝えるでは、どのような説明の仕方をしているのだろうか。 アップとルーズは、どんなとき使われているのかな。 自分のお気に入りの場所を説明するためには、アップの写真やルーズの写真に、どれを使えばいいのかな。それに合う文章はどう書けばいいのかな。 最後のまとめの文章をどう書くとよりよりリーフレットになるのかな。 単元の学習を通して、自分はどんな力を見に付けることができたのかな。	○ 観光案内リーフレットをみたり、学校や地域のお勧めの場所を友達と話し合ったりすることで、リーフレットを用いた説明に対する興味・関心をもつことができるようにする。 ○ 試しのリーフレットづくりに取り組んだり、教師の2種類のモデルを比較したりすることで、説明の仕方の工夫を学ぶ必要感や切実感を抱かせ、「単元を貫く『自分事の問い』」を見いだすことができるようにする。 自分のお気に入りの場所を紹介する場所について詳しく見たり、相手に伝える説明の仕方を調べたりして、「お気に入りの場所説明リーフレット」を作ろうとしている。【国語への関心・意欲・態度・発表、ノート】 ○ ①②③段落を読み、写真と説明の文章の内容を関連付けながら読むことで、写真と対応した説明のよさを理解することができるようにする。 ○ ④⑤段落に書かれた「アップ」と「ルーズ」の短所と長所をまとめることで、対比関係を用いて説明するよさを理解することができるようにする。 ○ 各段落の役割を基に文章構成図を話し合うことで、各段落相互の関わりを理解することができるようにする。 写真や文章を対応させながら読み、アップとルーズの特徴、段落の対比関係や文章全体における各段落相互の関わりを理解している。【読む能力：発表、ノート】 ○ 教材『「仕事リーフレット」を作ろう』を読むことで、自分でリーフレットを作るためには、「アップ」と「ルーズ」の学習の成果をまとめる必要性に気付かせることで、「自分事の問い」をもつことができるようにする。 ○ 同テーマの友達と集まり、「学んだことを生かして書いているか」という観点で読み合うことで、よりよい内容に修正することができるようにする。 アップの視点やルーズの視点で書かれた文章を対比して位置付けたり、「冒頭部－展開部－終末部」など各部分での段落の役割を明確にしたりして文章全体の構成を考えて書くことができる。 【書く能力：リーフレット】

アップで伝えるよさ、ルーズで伝えるよさ（大きく伝える、小さく伝える）を味わう
それを並べることでより伝わりやすくなることを実感できる授業にする。

8 本 時 (4 / 14)

(1) 目 標 「アップ」と「ルーズ」の特徴を対比的に書いた筆者の説明のよさを理解することができる。

(2) 展 開 □ は教師の言葉掛け □ は予想される子どもの反応 □ は「自分事の問い」 ◆ は重点評価項目 ☆ はICT活用の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導・評価
つ見 か通 むす (8)	<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習について確認する。</p> <p>筆者は「アップ」と「ルーズ」について 自分のリーフレット作り 写真を文章に対応させて書いていました。にも生かすことができたよ。</p> <p>今日はどんなことを勉強していきますか。 お気に入りの場所を友達に説明するために、④⑤⑥段落で、筆者はどんな書き方で説明をしているのか読んで調べます。</p> <p>④⑤⑥段落で筆者は、2枚の写真を使ってどんな書き方で説明しているのだろうか。</p>	<p>☆ 前時の学習を振り返った後、作成途中のリーフレットや学習計画を確認することで本時の活動に取り組む必要感や切実感を抱かせ、「一単位時間で解決を図る自分事の問い」をもつことができるようにする。</p> <p>○ 個人、グループ、全体で学習課題の解決を図るという学習の流れを確認することで、自分の考えをもったり、グループで考えをまとめたりする必要感をもって学ぶことができるようにする。</p> <p>○ ⑥段落に書かれた内容を確認することで、④⑤段落に書かれたアップとルーズの「伝えられること」「伝えられないこと」に着目して筆者の説明を読むことができるようにする。</p>
調深 べめ る (17)	<p>2 本時の学習課題を立てる。</p> <p>④⑤⑥段落で筆者は、2枚の写真を使ってどんな書き方で説明しているのだろうか。</p> <p>3 解決の見通しを確認する。</p> <p>4 ④⑤⑥段落を読み、「アップ」と「ルーズ」の特徴を調べる。</p> <p>5 グループで、「アップ」と「ルーズ」の特徴をワークシートにまとめる。</p> <p>グループで「アップ」と「ルーズ」の「伝えられること」と「伝えられないこと」や、筆者の説明の仕方が気付いたことをまとめましょう。</p> <p>アップで撮ると、細かい部分の様子がよく伝わります。しかし…。 ルーズで撮ると、広い範囲の様子がよく分かります。でも、…。</p>	<p>○ 「アップ」と「ルーズ」の特徴を比較しながらまとめることのできるワークシートを用意することで、筆者の対比的説明の工夫に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 話し合いの際は、子どもがもつ問いを想定し、教師が助言をすることで一人一人が考えをもつことができるようにする。</p> <p>○ 各グループのワークシートを板書に掲示し、それぞれの班まとめた内容を基に、「アップ」と「ルーズ」の「伝えられること」「伝えられないこと」は何か整理する。その後、板書を手掛かりに「筆者の説明のよい点は何か」という観点で話し合うことで、「アップ」と「ルーズ」の特徴や筆者の説明の工夫を理解することができるようにする。</p>
ま広 とげ める (10)	<p>6 グループでまとめたワークシートを基に、全体で「アップ」と「ルーズ」の特徴を確認し、筆者の説明の仕方のよい点について話し合う。</p> <p>「アップ」と「ルーズ」の特徴が分かりましたね。この特徴を説明する筆者の書き方はどこがいいですか。 筆者の説明のいいところは、「アップとルーズ」について比べて書いていることです。</p> <p>筆者のように比べて書く説明の仕方を対比といいます。 比べて書いていると、分かりやすい説明文になります。</p>	<p>○ 話し合いの際は、子どもがもつ問いを想定し、教師が助言をすることで一人一人が考えをもつことができるようにする。</p> <p>○ 各グループのワークシートを板書に掲示し、それぞれの班まとめた内容を基に、「アップ」と「ルーズ」の「伝えられること」「伝えられないこと」は何か整理する。その後、板書を手掛かりに「筆者の説明のよい点は何か」という観点で話し合うことで、「アップ」と「ルーズ」の特徴や筆者の説明の工夫を理解することができるようにする。</p>
高味 めわ るう (10)	<p>7 本時の学習について分かったことをまとめる。</p> <p>アップとルーズについて分かりやすく説明するために、2枚の写真を使って筆者は、それぞれが伝えられることと伝えられないことを対比して書いている。</p> <p>8 本時の学習で分かったことを確認し、自分のリーフレットづくりに生かす。</p> <p>9 次時の活動について、活動計画を基に見通しをもつ。</p>	<p>○ 学習課題を確認し、「本時の学習で分かったことはどんなことなのか」問うことで、本時の学習内容を自分の言葉でまとめることができるようにする。</p> <p>○ 本時の学習内容の何を自分の表現に生かすのか確認し、お気に入りの場所説明リーフレット作りの続きに取り組むことで、自己の学びの高まりを実感することができるようにする。</p> <p>◆ 「アップ」と「ルーズ」の特徴を対比的に書いた筆者の説明のよさを理解することができる。</p> <p>【読む能力：発表、ノート記述、リーフレットの下書き】</p>

教師の用意したアップとルーズの写真を基に、伝える文章を考えることで、対比して書くことのよさを実感し、自分のリーフレット作りに生かす意欲をもつことができるようにする。